

株式会社 紅久

800形 801号車

(ベニキュー号)

「金属リサイクルの総合商社！」をキャッチフレーズに東三河にある株式会社紅久の4事業所と浜松市の子会社、中村金属興業株式会社で、金属リサイクルとその周辺事業を展開しています。

鉄、非鉄金属スクラップを元に独自の選別、加工技術によって高品位のリサイクル原料を創り出し、製鉄会社や、非鉄精錬メーカーへ納入しています。リサイクル原料を製造することで、CO₂の削減にも貢献しています。

紅久は江戸時代に創業し、今年250周年を迎えました。

安永4年(1775年)には東海道の三河吉田藩(現在の豊橋)より紅花商御用商人の営業許可を取得しました。以来、七代にわたり「紅屋久兵衛」を襲名し、吉田藩御用達の頬紅、口紅、着物の染料などの紅花商品を取り扱う、紅花商を営みました。

明治35年(1902年)より業種変更し、金属原料リサイクル業を創業しました。その際、企業名を「紅屋久兵衛」にちなみ、「紅久」という屋号を使うようになったのです。

2025年現在、創業から250年。そのうち127年が紅花商。123年が金属リサイクル業という歴史内訳になります。



■車両デザインについて

江戸時代に紅花商を営んでいた歴史にちなんで、山形の紅花畑をモチーフに三浦社長が下絵を作成し、それをもとにデザイン化しました。

(ジブリアニメの「おもひでぽろぽろ」のワンシーンのイメージです)

ちなみに、細かく描かれた一つ一つの紅花は、紅久のロゴマークを使用しており、これも三浦社長の作成したものです。

車両最前部のガードには遊び心で「ベニキュー号」と表記しました。

伊豆急、小田急、富士急のように、スピード感を表したいと思いました。

